

れに伴う黒毛素牛の供給過剰や肥育生産者の経営が厳しい状況も相まって黒毛素牛市場の価格も下落し、酪農経営自体が非常に厳しい状況にあり、牧草については1番牧草収穫期に晴天が続く、良質な牧草が収穫できましたが、2番牧草においては猛暑と日照り続きで枯れてしまっている部分も多くみられています。販売金額は3億3千万円の取扱実績でした。

基幹産業である軽種馬については、一昨年の市場販売頭数及び販売金額が、504頭、67億6千万円で昨年より23頭、5億5千万円の増加となり、平均販売価格は49万円増加の1340万円となりました。コロナ禍から日常に戻りつつある中で、軽種馬市場においても購買者が増え非常に活気に満ちております。総売上は過去最高の180億円を超える結果でありました。

また、昨年の重賞レースでは2月1日、川崎競馬場で開催された「川崎記念」と3月25日、ドバイで開催された「ドバイワールドカップ」で千代田牧場生産のウシュバテソロー号が、7月12日、大井競馬場で開催された「ジャパンダ

ートダービー」で高橋ファーム生産のミックファイア号が、11月3日に同じく大井競馬場で開催された「JBCレディスクラシック」で畠山牧場生産のアイコンテラ1号がG1勝利を挙げました。改めて生産牧場の皆様にお祝い申し上げます。

最後に、昨今の異常気象、特に夏場の猛暑の常態化や肥料、飼料をはじめとする物価の高騰など大変厳しい農業環境の中でありますが、各地域において新たな農業の形を作っていくという取組も見られる中、各品目の将来について引き続き組織討議を行ってまいります。組合員皆様が強力な農業経営の実現に向け当JAとしましても努力して参りますのでこれまでと変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

本年も皆様をはじめ、ご家族にとりまして実り多い良い年でありますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。



## 謹んで新年のご祝詞を申し上げます

会長理事

西村 和夫

代表理事組合長

藤村 英治

理事

山口 修二

谷岡 康成

田中 裕之

小池 孝義

帰山 諭

理事兼参事

大滝 康正

代表監事

渡辺 隆

監事

姥谷 秀樹

金融部長

竹内 章浩

営農部長

丹野 潤一

経済部長

樗田 文明

外職員一同